

平成30年度

J-クレジット制度 沖縄地域活用事例集



目次

J-クレジット制度のご案内

1. J-クレジット制度の仕組み 1
2. J-クレジット創出者のメリット 1
3. J-クレジット制度の対象となる事業 2
4. J-クレジットが発行されるまでの流れとソフト支援 3

J-クレジット創出モデルケース

- ケース1** 照明設備の導入 4
- ケース2** ボイラーの導入 4
- ケース3** 太陽光発電設備の導入 5

沖縄県内のJ-クレジット創出

- J-クレジット創出事業者一覧 5
- J-クレジット創出事例 トーラス株式会社 6

J-クレジットの活用 ~カーボン・オフセット~

1. カーボン・オフセットとは 8
2. オフセットの流れ 8
3. オフセットの種類 8
4. 沖縄県内のカーボン・オフセット事例 9

..... J-クレジット制度のご案内

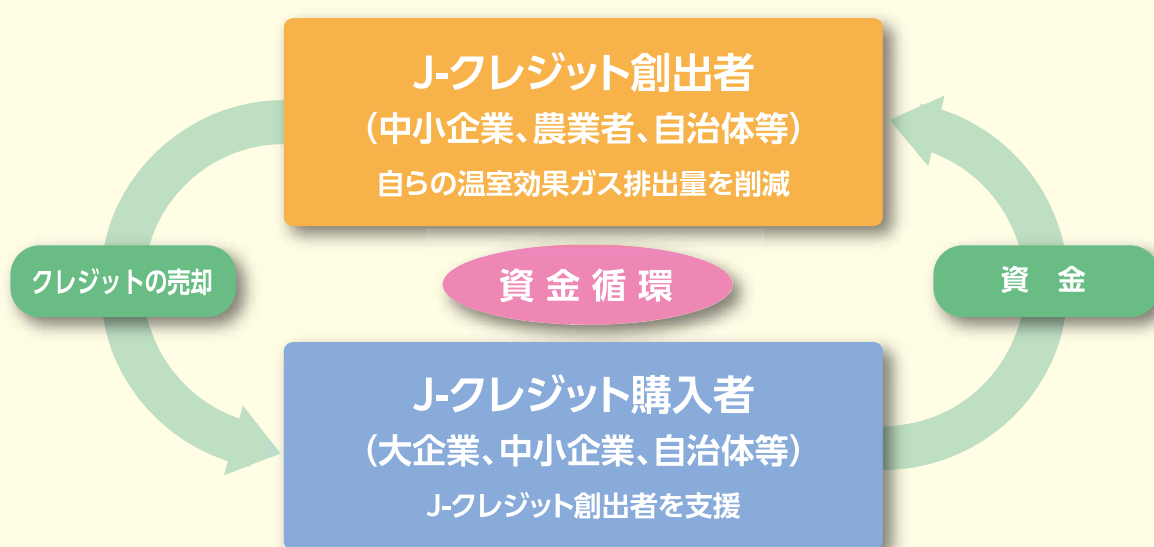
1. J-クレジット制度の仕組み

J-クレジット制度は、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による温室効果ガスの排出削減量や適切な森林管理による温室効果ガスの吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

認証されたクレジットは、購入することができ、低炭素社会実行計画^{※1}の目標達成やカーボン・オフセット^{※2}など、さまざまな用途に活用できます。また、クレジットの購入代金はクレジット創出者に還元され、さらなるCO₂排出削減／吸収の取組や地域活性化等に活かすことができます。

※1 低炭素社会実行計画とは、日本経済団体連合会が策定する自主的なCO₂削減の計画。

※2 カーボン・オフセットについてはp.8を参照。



J-クレジット制度は、国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VER）制度が発展的に統合した制度で、国により平成25年度から運営されています。

2. J-クレジット創出者のメリット

ランニングコストの低減

◎省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によりランニングコストの低減やクリーンエネルギーの導入を図ることができます。

クレジット売却益

◎設備投資の一部を、クレジットの売却益によってまかない、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用できます。

PR効果

◎自主的な排出削減や吸収プロジェクトを行うことで、温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRすることができます。

新たなネットワーク構築

◎クレジットの創出や売買を通して新しいネットワークの構築につながります。

3. J-クレジット制度の対象となる事業

◎プロジェクトの登録要件

- 日本国内で実施されること。
- プロジェクト登録申請日の2年前の日以降に実施されたものであること。
- 排出削減のための設備投資回収年数が概ね3年以上であること。
- 方法論に基づいて実施されること。（下表参照）
- 審査機関による妥当性確認を受けていること。



◎ソフト支援・審査費用支援の対象事業者

- 中小企業基本法の対象事業者等（医療法人、社会福祉法人、学校法人等も可）
- 自治体

◎方法論一覧

- ・ボイラーの導入
- ・ヒートポンプの導入
- ・工業炉の更新
- ・空調設備の導入
- ・ポンプ・ファン類への間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御の導入
- ・照明設備の導入
- ・コージェネレーションの導入
- ・変圧器の更新
- ・外部の効率のよい熱源設備を有する事業者からの熱供給への切り替え
- ・未利用廃熱の発電利用
- ・未利用廃熱の熱源利用
- ・電気自動車の導入
- ・ITを活用したプロパンガスの配送効率化
- ・ITを活用した検針活動の削減
- ・自動販売機の導入
- ・冷凍・冷蔵設備の導入
- ・ロールアイロナーの更新
- ・電動式船舶への更新
- ・廃棄物由来燃料による化石燃料又は系統電力の代替
- ・ポンプ・ファン類の更新
- ・電動式建設機械・産業車両への更新
- ・生産設備（工作機械、プレス機械又は射出成型機）の更新
- ・エコドライブを支援するデジタルタコグラフ等装置の導入及び利用
- ・テレビジョン受信機の更新
- ・自家発電設備の導入
- ・乾燥設備の更新
- ・屋上緑化による空調に用いるエネルギー消費削減
- ・ハイブリッド式建設機械・産業車両への更新
- ・天然ガス自動車の導入
- ・印刷機の更新
- ・サーバー設備の更新
- ・節水型水まわり住宅設備の導入
- ・外部データセンターへのサーバー設備移設による空調設備の効率化
- ・エコドライブ支援機能を有するカーナビゲーションシステムの導入及び利用
- ・海上コンテナの陸上輸送の効率化
- ・下水汚泥脱水機の更新による汚泥処理プロセスに用いる化石燃料消費削減
- ・共同配送への変更
- ・冷媒処理設備の導入
- ・省エネルギー住宅の新築又は省エネルギー住宅への改修
- ・ポルトランドセメント配合量の少ないコンクリートの打設
- ・バイオマス固形燃料（木質バイオマス）による化石燃料又は系統電力の代替
- ・太陽光発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー熱を利用する熱源設備の導入
- ・バイオ液体燃料（BDF・バイオエタノール・バイオオイル）による化石燃料又は系統電力の代替
- ・バイオマス固形燃料（廃棄物由来バイオマス固形燃料）による化石燃料又は系統電力の代替
- ・水力発電設備の導入
- ・バイオガス（嫌気性発酵によるメタンガス）による化石燃料又は系統電力の代替
- ・風力発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー熱を利用する発電設備の導入
- ・マグネシウム溶解鑄造用カバーガスの変更
- ・麻酔用N2Oガス回収・分解システムの導入
- ・液晶TFTアレイ工程におけるSF6からCOF2への使用ガス代替
- ・温室効果ガス不使用絶縁開閉装置等の導入
- ・機器のメンテナンス等で使用されるダストブロー缶製品の温室効果ガス削減
- ・豚・ブロイラーへのアミノ酸バランス改善飼料の給餌
- ・家畜排せつ物管理方法の変更
- ・茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥
- ・微生物活性剤を利用した汚泥減容による、焼却処理に用いる化石燃料の削減
- ・食品廃棄物等の埋立から堆肥化への処分方法の変更
- ・森林経営活動
- ・植林活動

（平成30年5月時点。方法論は随時追加されますので、最新情報はJ-クレジット制度のホームページでご確認ください。）

4. J-クレジットが発行されるまでの流れとソフト支援

クレジットの認証・発行までには、プロジェクトの登録とモニタリング（削減量や吸収量の算定をするための計測等）の2つのステップがあります。

J-クレジット制度への参加にあたっては、クレジット創出者を技術的にサポートするソフト支援を活用することができます。ソフト支援事業は国から委託された事業者が実施していますので、事業の詳細・活用については、内閣府沖縄総合事務局経済産業部エネルギー対策課までお問い合わせください。

※ 最終頁 問合せ先参照

ステップ1 プロジェクトの登録

1-1 プロジェクト計画書の作成

「どんなCO₂排出削減／吸収事業（省エネ設備の導入、森林管理等）を実施するか」を記載した計画書を作成します。

※計画書の作成についてソフト支援を受けることができます。

※対応する方法論がない場合は、新しく方法論を策定する必要があります。

1-2 審査機関によるプロジェクト計画書の審査

「プロジェクト計画がJ-クレジット制度の規定に沿っているか」を審査機関に事前確認してもらいます。

※審査費用について支援を受けることができます。

ステップ2 モニタリングの実施

2-1 モニタリング報告書の作成

国に登録されたプロジェクト計画に基づき、排出削減量／吸収量を算定するための計測や実績を記録した「モニタリング報告書」を作成します。

※電話・メールによる助言を受けることができます。

2-2 審査機関によるモニタリング報告書の検証

「モニタリング方法等がJ-クレジット制度の規定に沿って行われているか」を審査機関に事前確認してもらいます。

※審査費用について支援を受けることができます。

2-3 クレジット認証申請

J-クレジット制度事務局（制度管理者／委員会）にクレジットの認証を申請します。



クレジットの認証・発行

J-クレジット創出モデルケース

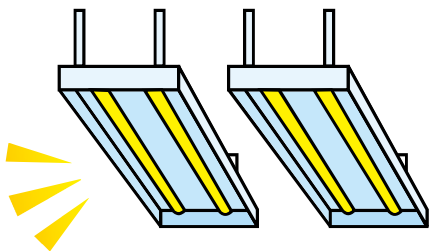
ケース1 照明設備の導入

省電力の照明設備を導入することにより、電力の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 更新前の照明設備又は標準的な照明設備よりも、省電力の照明設備を導入すること

更新前

条件:100Wの蛍光灯 600台
稼働時間:4,380時間/年
消費電力:262,800 kWh/年
排出係数:0.000569 t-CO₂/kWh
年間排出量:149 t-CO₂

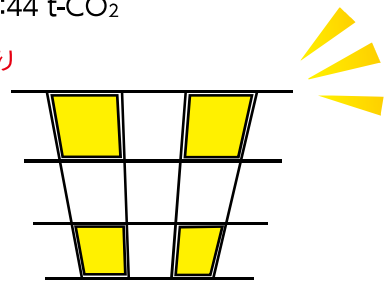


更新前の照明設備

プロジェクト実施後

条件:30WのLED 600台
稼働時間:4,380時間/年
消費電力:78,840 kWh/年
排出係数:0.000569 t-CO₂/kWh
年間排出量:44 t-CO₂

ベースラインより
電力使用量が
削減される。



省電力の照明設備

年間105t-CO₂ のクレジット創出

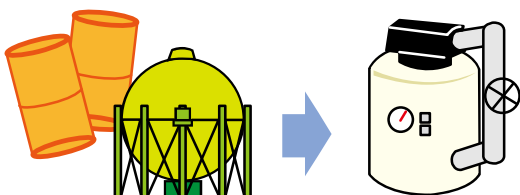
ケース2 ボイラーの導入

効率のよいボイラーを導入することにより、化石燃料の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 更新前のボイラー又は標準的なボイラーよりも、効率のよいボイラーを導入すること
ボイラーで生産した蒸気又は温水等の熱の全部又は一部を自家消費すること

更新前

燃料:A重油
エネルギー消費効率:85.5%
生成熱量:4,342GJ/年
排出係数:0.0708t-CO₂/GJ
年間CO₂排出量:360t-CO₂



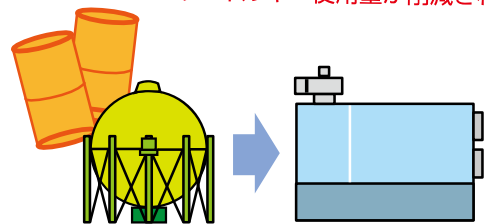
重油
都市ガス等

更新前のボイラー
又は
標準的なボイラー

プロジェクト実施後

燃料:都市ガス
エネルギー消費効率:86.4%
生成熱量:4,342GJ/年
熱料使用量:112.2千Nm³/年
単位発熱量:44.8GJ/千Nm³
排出係数:0.0521 t-CO₂/GJ
年間CO₂排出量:261t-CO₂

ベースラインよりエネルギー使用量が削減される。



重油
都市ガス等

高効率ボイラー

年間99t-CO₂ のクレジット創出

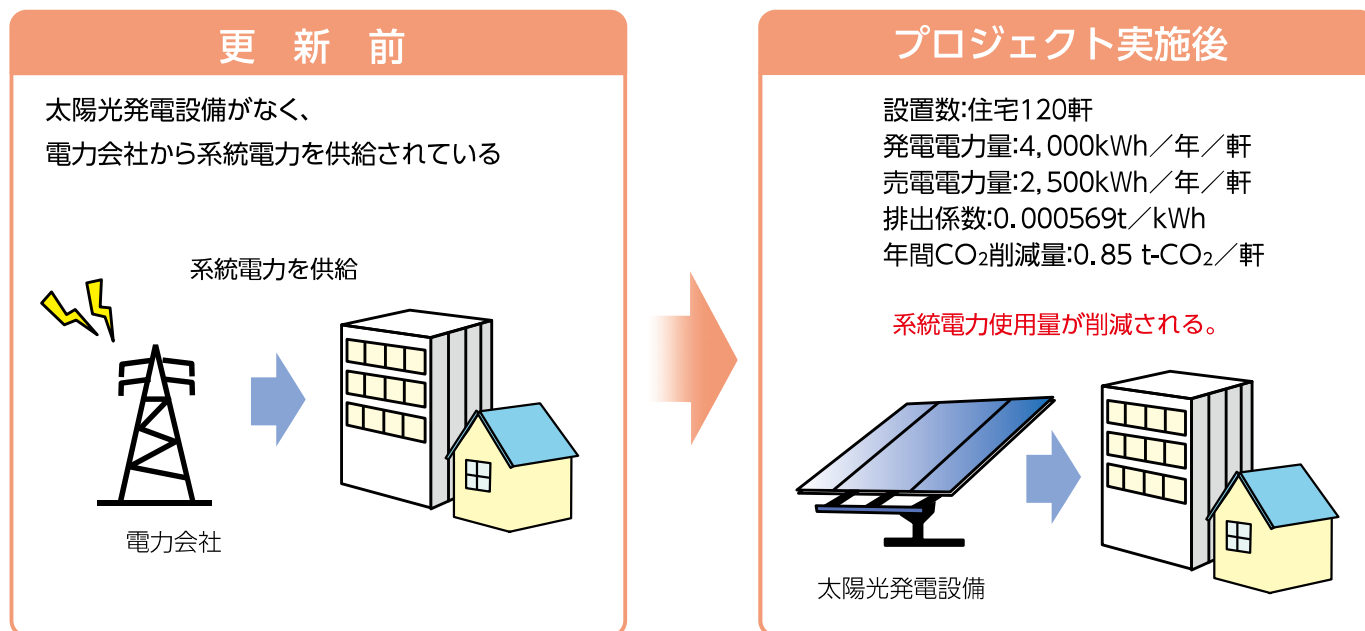
ケース3 太陽光発電設備の導入

太陽光発電設備を導入することにより、系統電力等の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 太陽光発電設備を設置すること

原則として、発電した電力の全部又は一部を自家消費すること

発電した電力が系統電力等を代替するものであること



年間102t-CO₂ のクレジット創出

沖縄県内のJ-クレジット創出

J-クレジット創出事業者一覧

プロジェクト実施者	プロジェクト概要	CO ₂ 排出削減量 (t-CO ₂ /年)
沖縄県企業局	浄水場におけるポンプ・ファン類の更新	2,589
株式会社青い海	製塩工場におけるボイラーの更新(重油→LPG)	322
有限会社登川商事 (ドラゴンボウル)	ボウリング場における照明設備の更新(LED化)	100
国立大学法人琉球大学	大学における太陽光発電設備の導入、変圧器の更新	83
株式会社南都 (おきなわワールド)	観光施設における照明設備の更新(LED化)、太陽光発電設備の導入	101
有限会社東南植物楽園	観光施設における照明設備の更新(LED化)	53
有限会社具志川ゴルフクラブ	ゴルフ場における照明設備の更新(LED化)	106
タピック沖縄株式会社 (ペアーレ沖縄・タピック)	運動施設における照明設備の更新 (LED化)	26
合資会社北谷スポーツセンター (スポーツワールドサザンヒル)	運動施設における照明設備の更新 (LED化)	99
タピック沖縄株式会社 (ユインチホテル南城)	宿泊施設におけるコージェネレーションの導入(A重油→天然ガス)	160
沖縄綿久寝具株式会社	クリーニング工場におけるボイラーの更新(A重油→LNG)	1,790
株式会社琉球ホテルリゾート那覇 (ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)	ホテルにおけるボイラーの更新(A重油→都市ガス)	256
株式会社みつわ産業	小売店舗における照明設備の更新(LED化)	93
トーラス株式会社	住宅における太陽光発電設備の導入	99

J-クレジット創出事例

住宅における太陽光発電設備の導入

トーラス株式会社

1. 施設の概要

「トーラス(株)は、人と自然の調和を大切にし、事業を通してよりよい地球環境づくりに貢献していきます。」

これが、弊社の企業理念です。

弊社は、再生可能エネルギーに関するコンサルティング及び、プロジェクトマネジメント、O&Mや施工を中心に事業を展開しております。事業を通して、エンドユーザー様とともに、低炭素社会への貢献、環境保全の認知拡大を行うことが最大の喜びの一つです。

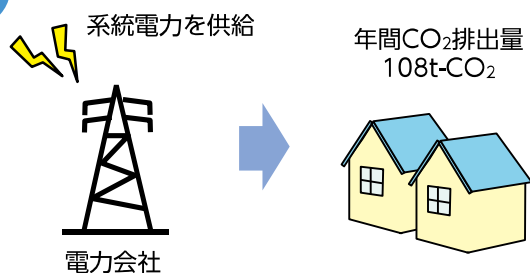


2. 排出削減事業の概要

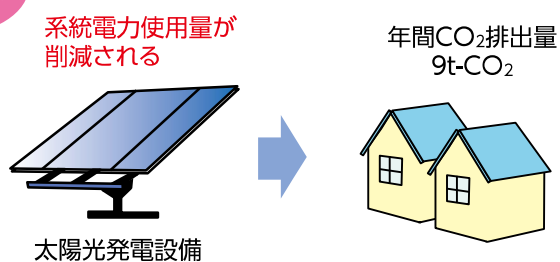
太陽光発電設備の導入

一般家庭に太陽光発電設備を導入し、系統電力の一部を代替することでCO₂を削減します。

導入前



導入後



事業者プロフィール



事業者名 トーラス株式会社 所在地 沖縄県那覇市天久762-14クリアビル5F
担当者 宮平 武 U R L <http://www.torus-i.co.jp>
連絡先 098-988-8952 E-mail t.miyahira@torus-i.co.jp

3. 事業実施の経緯

持続可能な低炭素社会へ、思いをこめて

設立当初からのプロジェクトとして養殖サンゴの移植を実施し、エンドユーザー様と自然環境の価値を共有してきました。

J-クレジット制度のプログラム型プロジェクトは沖縄県では初の登録で、PRと差別化による相乗効果が期待できます。また、創出したクレジットを自然環境保護活動に活用することにより、カーボン・オフセット、世界自然遺産登録への機運も高められるなど、持続的な低炭素社会の構築、次世代へ向けた環境配慮のメッセージになると思い、J-クレジット制度に参加しました。

毎年会員数を増やしていき、2030年までには削減総量4131t-CO₂、スギの木の吸収量で換算するとおよそ29万本分、ガソリン車1台の走行距離で表すと地球382周分のCO₂排出の削減を目指します。



4. 取り組みの感想・効果

新たなつながりの構築に期待、自然を守り次世代へ

J-クレジット制度への参加を担当された広報部・ecoプランナーの宮平さんは、取り組みの感想を次のように話しています。

沖縄県でのプログラム型プロジェクトの登録は初の試みで、他県の計画書を参考にし、弊社の企業理念に沿った計画書の作成に至りました。県内初の登録ということで、地元新聞社に記事にいただき、沖縄県民に広く知って頂くことが出来ました。J-クレジット制度事務局側の依頼で、J-クレジット制度の取り組みについて講演し、貴重な体験をすることができました。また、J-クレジット制度の参加にあたり、市町村や保護団体など新たなつながりが生まれ、今後新たなネットワークを築いていくことも期待できます。

地球温暖化対策は軽視できない世界全体の課題となっています。微力ではありますが、創出したクレジットをカーボン・オフセットすることで持続的な低炭素社会の構築ができます。また、クレジットの売却益を自然環境と生態系の保護に活用します。それらを継続することで大自然が生み出す感動を次世代へ残すことができると確信しております。

CO₂排出削減量

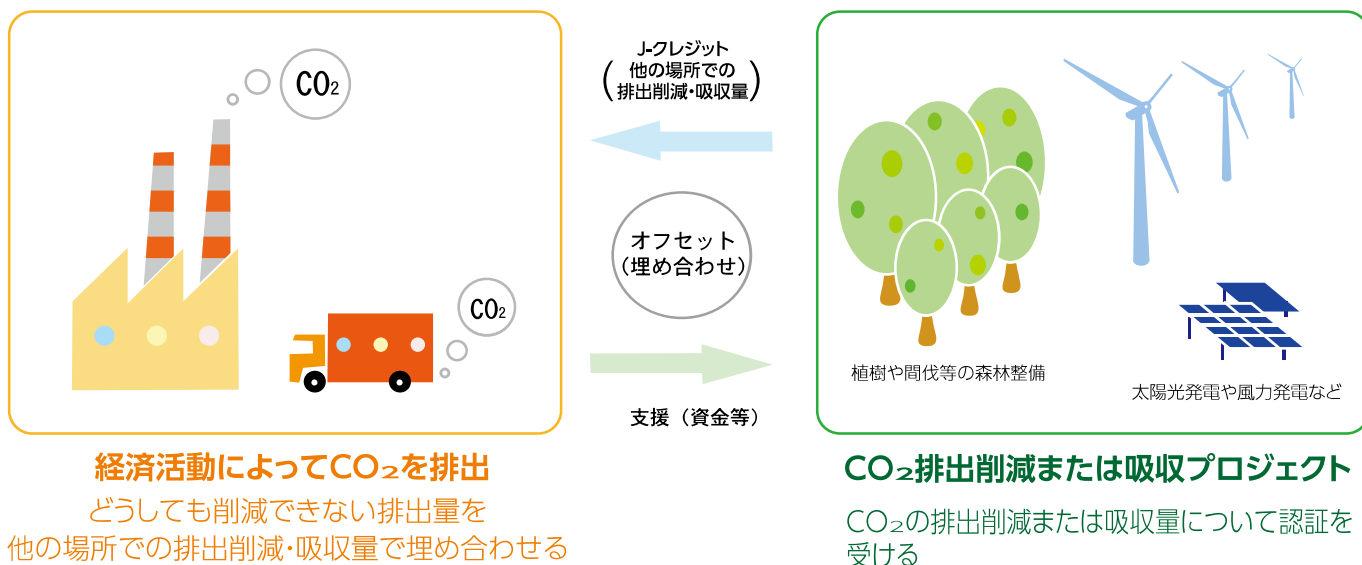
99
t-CO₂/年

J-クレジットの活用～カーボン・オフセット～

1. カーボン・オフセットとは

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において排出する温室効果ガスについて、できる限り排出量の削減努力を行ったうえで、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った削減活動に投資することで、排出される温室効果ガスを"埋め合わせる (オフセット)"という考え方です。

中小企業等により創出されたクレジットは、各地で開催されるイベントや企業活動などのカーボン・オフセットに活用されています。



2. オフセットの流れ



3. オフセットの種類



4. 沖縄県内のカーボン・オフセット事例

支援イベントや発行物のオフセット

株式会社 琉球銀行

1. 事業の概要

琉球銀行は、昭和23年に設立された地域銀行です。地域金融機関の使命を「地域の金融インフラを支える存在として、円滑な資金供給と金融サービスを提供することにある」と認識し、県民からお預かりした預金の大部分を県内の中小企業・個人の皆さまに供給し、県経済・社会の発展に貢献しています。

さらに、地域社会に根ざした良き企業市民として、教育・芸術・文化・スポーツ振興支援や福祉・環境保護活動などのほか、さまざまなボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。



2. カーボン・オフセットの内容

地球温暖化対策の一環として開催イベントや発行物のカーボン・オフセットに取り組んでいます。

毎年、特別協賛として開催しているナイスハートバザールの会場の電力使用・関係者車両によるガソリン使用に伴って排出されるCO₂をカーボン・オフセットしています。

また、行内報「りゅうぎん」やリクルーター向けパンフレット「入行のご案内」、お客様の通帳の印刷に伴って排出されるCO₂のオフセットにも取り組んでいます。



3. 取り組みの感想など

琉球銀行は、照明設備のLED化や節電キャンペーン、太陽光発電設備の導入、資料のペーパーレス化など様々な環境保全の取り組みを行っています。平成24年からは、ナイスハートバザールの環境保全への取り組みとして、カーボン・オフセットを始めました。

カーボン・オフセットの実施が、クレジット創出事業者のCO₂削減につながり、地球温暖化対策の推進に貢献できると考えています。

平成30年度からは、沖縄本島、宮古島に加え石垣島でもナイスハートバザールを開催する予定です。障がい者の自立支援とともに環境保全の取り組みをさらに拡げていく予定です。



実施するすべての工事をオフセット

株式会社 那覇電工

1. 事業の概要

株式会社那覇電工は地域に根ざした電気工事会社として、創業40年余、品質保障、顧客満足を第一に豊富な経験と技術を持って地域貢献に邁進します。

事業内容は、総合電気工事(配電工事、送変電工事、内線工事)および電気通信工事を手掛けています。

人々の生活を守ることに誇りを持って日々仕事に取り組んでおります。



2. カーボン・オフセットの内容

当社が行ったカーボン・オフセットの実績は以下のとおりです。

- | | |
|---|--|
| 1) まちづくり拠点施設改修工事 2t-CO ₂ | 11) 西原浄水場中央監視制御設備工事 7t-CO ₂ |
| 2) 大名市営住宅第1期建替工事 7t-CO ₂ | 12) 平成29年度上水道監視システム更新工事 3t-CO ₂ |
| 3) 低炭素社会構築事業 1t-CO ₂ | 13) 上田幼稚園・小学校改築工事南棟(電気設備) 3t-CO ₂ |
| 4) 空自那覇外(25)格納庫改修等設備工事 11t-CO ₂ | 14) 那覇空港アンダーパス用キュービクル設置工事 4t-CO ₂ |
| 5) モニタリングポスト局舎用供給電源改修業務 4t-CO ₂ | |
| 6) 平成26年度熱帯ドリームセンター設備改修工事 19t-CO ₂ | |
| 7) 沖縄空手会館新築工事(展示棟・電気) 3t-CO ₂ | |
| 8) 佐手取水ポンプ場電気計装設備工事 9t-CO ₂ | |
| 9) 田嘉里取水ポンプ場電気計装設備工事 9t-CO ₂ | |
| 10) 低炭素なまちづくり推進事業 1t-CO ₂ | |

購入先

社会福祉法人愛の園福祉会／国立大学法人琉球大学
米川生産森林組合／株式会社青い海／沖縄県企業局
財団法人沖縄県青年会館／沖縄県農業協同組合

寄付先

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会(サンゴ礁保全)
認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金(イリオモテヤマネコ保護)
NPO法人どうぶつたちの病院沖縄(ヤンバルクイナ保護)

3. 取り組みの感想など

当社では社会貢献の一環として、請け負った工事の現場で排出されるCO₂排出量ゼロを目指し、カーボン・オフセットを平成26年度より導入しました。作業員の通勤や現場作業車の使用に伴い排出されるCO₂をオフセットしてきました。これまでに行ったカーボン・オフセットの実績総数は14件83t-CO₂となりました。また、クレジット購入費用の一部をサンゴ礁保全や動物保護の環境保護団体へ寄付する活動も継続しております。

カーボン・オフセットに取り組むことで当社の現場でのCO₂排出量をゼロにするだけでなく、クレジット創出企業や環境保護団体の活動のサポートにも寄与することができました。小さな一歩ではありますが、これからも、環境に配慮した日々の事業活動を通して積極的に社会貢献していきたいと考えています。



J-クレジットの活用～カーボン・オフセット～

西原浄水場中央監視制御設備工事

横河ソリューションサービス(株)・(株)那覇電工・
(株)山川電気特定建設工事共同企業体



沖縄県企業局発注の設備工事において、工事に使用した現場作業車および作業員の通勤に使用した自動車の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（沖縄県企業局/社会福祉法人愛の園福祉会）、J-クレジット（国立大学法人琉球大学）



那覇空港アンダーパス用屋外キュービクル設置工事

株式会社那覇電工



大阪航空局発注の屋外キュービクルの設置工事において、工事に使用した現場作業車および作業員の通勤に使用した自動車の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

J-クレジット（国立大学法人琉球大学）



上田幼稚園・小学校改築工事 南棟 (電気設備)

(株)那覇電工・南西電設(株)建設工事共同企業体



豊見城市発注の改築工事において、工事に使用した現場作業車および作業員の通勤に使用した自動車の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

J-クレジット（株式会社青い海）



平成 29 年度上水道監視システム更新工事

(株)那覇電工・(株)祖慶電設工業・
(株)大幸電設特定建設工事共同企業体



那覇市上下水道局発注の「平成29年度上水道監視システム更新工事」において、工事に使用した現場作業車および作業員の通勤に使用した自動車の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（社会福祉法人愛の園福祉会/財団法人沖縄県青年会館）

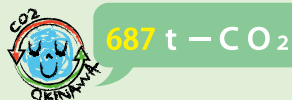


第33回 全日本トライアスロン宮古島大会 宮古島トライアスロン実行委員会



宮古島で毎年開催される国際的なトライアスロン大会です。大会参加者の移動および滞在期間中の生活に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット（パシフィック観光産業株式会社/一般家庭の住宅太陽光）、J-クレジット（フクシマフーズ株式会社）



第8回 エコアイランド宮古島マラソン エコアイランド宮古島マラソン実行委員会



「エコとスポーツの融合」をテーマに、観光振興や地域活性化に寄与することを目的とするスポーツイベントです。島外からの参加者の飛行機の移動に伴い排出されたCO₂と参加者全員の滞在期間中の生活に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
J-クレジット
（株式会社青い海）



スターダストファンタジア 2017～2018 株式会社カヌチャベイリゾート



幻想的な100万の星たちが彩る沖縄を代表するウィンターイルミネーションイベントです。イルミネーションの電力使用に伴い排出されたCO₂について、自社で植栽したヤエヤマヤシによる吸収量などを活用してカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
J-クレジット（株式会社青い海）、沖縄県CO₂吸収量認証制度（ヤエヤマヤシによるCO₂吸収量）、J-VER（一関市）



第66回 琉大祭 第66回琉大祭実行委員会



琉球大学の学園祭です。第66回は「COLORFUL～壁を越えろ～」をテーマに開催され、発電機の燃料使用、参加者の移動、廃棄物の処理に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット（パシフィック観光産業株式会社/株式会社ティ・エム・オ普天間）、J-クレジット（株式会社青い海）



久志浄水場中央監視制御設備工事

東芝インフラシステムズ(株)・三協電気工事(株)・
沖電水工事(株) 特定建設工事共同企業体



沖縄県企業局発注の「久志浄水場中央監視制御設備工事」において、作業員の通勤車の走行、建設機械の稼働および現場事務所の電気使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（沖縄県企業局）、J-クレジット（国立大学法人琉球大学）



27 t - CO₂

名護浄水場急速ろ過池電気設備工事 (その1)

東芝インフラシステムズ(株)・(株)ゼネラル電設特定建設工事共同企業体



沖縄県企業局発注の電気設備工事において、工事車両の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（沖縄県企業局/パシフィック観光産業株式会社）



10 t - CO₂

高等学校の校舎

沖縄県立コザ高等学校



生徒主導で環境貢献活動を考える取り組みとして、学園祭バザーで得た売上金でクレジットを購入し、校舎における電気使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

J-VER（宮城県登米市）、J-クレジット（国立大学法人琉球大学）



15 t - CO₂

ふれあいガスまつり

沖縄ガス株式会社



沖縄ガスが主催する「ふれあいガスまつり」における電気およびガスの使用、発電機および来客者の自動車の燃料使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

J-クレジット（株式会社青い海）



6 t - CO₂

旧慶佐次ロランC局埋設物撤去工事

株式会社照屋土建



第11管区海上保安本部発注の埋設物の撤去工事において、工事に使用したバックホウおよび発電機の稼働に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（沖縄県企業局）、J-クレジット（国立大学法人琉球大学/株式会社青い海）



航空機整備新築工事 (H29 舗装工)

株式会社第一建設



沖縄県発注の舗装工事において、使用したバックホウおよびダンプトラックの稼働に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（沖縄県企業局/株式会社ティ・エム・オ普天間）



第23回国場川水あしび

国場川水あしび実行委員会



身近に残された貴重な自然に親しみ、水辺環境保全の大切さを認識してもらうために開催する漫湖の清掃イベントです。集めたプラスチックごみの焼却に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（株式会社ティ・エム・オ普天間）



第8回オキナワベンチャーマーケット 万国津梁大異業種交流会

オキナワベンチャーマーケット運営事務局

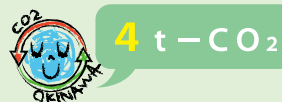


県内、県外、海外から様々な分野の企業（約250社）が出展するビジネスフェア形式の異業種交流会です。

発電機の燃料使用、来客者の自動車の燃料使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（パシフィック観光産業株式会社/株式会社ティ・エム・オ普天間）



平成 29 年度 CPDS セミナー (沖縄建設マネジメントフォーラム)

NPO法人グリーンアース事務局



建設マネジメント技術、環境保全、新エネルギー等の新規分野技術に関するCPDS（技術者継続学習）セミナーを定期的で開催しています。

セミナー参加者の自動車による移動に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（国立大学法人琉球大学/株式会社ティ・エム・オ普天間）



3 t-CO₂

沖縄大交易会 2017 ガイドブック

沖縄大交易会実行委員会



沖縄の国際物流拠点化の促進を目的とした海外バイヤーが多数参加する日本最大級の「食」の事前アポイント型個別商談会です。ガイドブックの原料調達・印刷・流通・廃棄に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（株式会社ティ・エム・オ普天間）



3 t-CO₂

第 38 回金武町まつり

金武町



全島沖縄角力大会やエイサー演舞など、さまざまなイベントが催される金武町のお祭りです。

「第38回 金武町まつり」における発電機・シャトルバスの燃料使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（パシフィック観光産業株式会社）



3 t-CO₂

クールチョイス推進なご大会 / 県民環境フェア in なご

おきなわアジェンダ 21 県民会議



おきなわアジェンダ21県民会議が開催する「クールチョイス推進なご大会/おきなわアジェンダ21県民環境フェアinなご」における来場者・出展団体の車両使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】

国内クレジット（株式会社ティ・エム・オ普天間/株式会社青い海）



3 t-CO₂

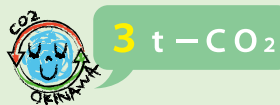
第33回ナイスハートバザールイン沖縄/ 第2回ナイスハートバザールイン宮古

沖縄県セルプセンター / 特別協賛：株式会社琉球銀行



琉球銀行が特別協賛する、就労支援事業所等の優れた製品を一堂に集め、即売会を実施するイベントです。会場の電力使用・関係者車両によるガソリン使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
J-クレジット (国立大学法人琉球大学)



平成 29 年度 沖縄銀行ディスクロージャー誌

株式会社沖縄銀行



「平成29年度沖縄銀行ディスクロージャー誌」の原料調達・印刷・流通に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット (パシフィック観光産業株式会社)



平成 29 年度宜名真トンネル 照明設備設置工事

マエダ電気工事株式会社



沖縄総合事務局北部国道事務所発注の照明設置工事において、作業員の通勤に使用した自動車の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット (沖縄県企業局/パシフィック観光産業株式会社)



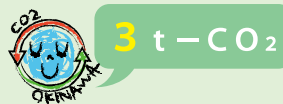
上田幼稚園・小学校改築工事 中棟 (電気設備)

マエダ電気工事(株)・(有)勝電機建設工事共同企業体



豊見城市発注の改築工事において、作業員の通勤に使用した自動車の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
J-クレジット (国立大学法人琉球大学)



おきぎんの地方創生

株式会社沖縄銀行



平成 29 年度に発行した「おきぎんの地方創生」の原材料調達・印刷・流通に伴い排出された CO₂ のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット (パシフィック観光産業株式会社)



1 t-CO₂

観光会議おきなわ

株式会社リクルートライフスタイル沖縄



「観光会議おきなわ」は、沖縄の観光マーケット活性化のために県内を中心とした取材、座談会、事例などをお届けする冊子です。

平成 29 年度に発行した 800 冊分の原材料調達・印刷・流通に伴い排出された CO₂ のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット (パシフィック観光産業株式会社)



1 t-CO₂

第 12 回

うるま市エイサーまつり

うるま市エイサーまつり実行委員会



うるま市エイサーまつり実行委員会が主催する「エイサーまつり」における発電機・シャトルバスの燃料使用、廃棄物の処理に伴い排出された CO₂ のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット (パシフィック観光産業株式会社)



2 t-CO₂

平成 29 年度北部国道管内 照明灯設置工事

マエダ電気工事株式会社



沖縄総合事務局北部国道事務所発注の照明灯設置工事において、作業員の通勤に使用した自動車の走行に伴い排出された CO₂ のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット (沖縄県企業局/株式会社ティ・エム・オ普天間)



2 t-CO₂

県立看護大学空調設備及び 高圧受電設備更新工事

マエダ電気工事株式会社



沖縄県発注の設備更新工事において、従業員の通勤に使用した自動車の走行に伴い排出された CO₂ のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
J-クレジット (国立大学法人琉球大学)



1 t-CO₂

自家用車・自家用バイク

個人



自家用車および自家用バイクの使用に伴い排出された CO₂ 一年分 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日) のカーボン・オフセットを実施しました。

【利用したクレジット】
国内クレジット (株式会社ティ・エム・オ普天間)



2 t-CO₂



「変える」をコンセプトに、削減したCO₂を環境価値に変えること、世界的な環境問題である地球温暖化を沖縄から変えていこうという想いを込めてデザインされたロゴマークです。

J-クレジット制度について詳しく
知りたい方はホームページをご覧ください。
<http://japancredit.go.jp/>



沖縄県内の制度参加、カーボン・オフセットの
支援についてはこちらまで。
<http://www.okikanka.or.jp/j-cre.html>



お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー対策課

〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2 地方合同庁舎 2号館
TEL 098-866-1759

一般財団法人 沖縄県環境科学センター

〒901-2111 浦添市字経塚720番地
TEL 098-875-5208

本紙の原材料調達、生産時の電力使用、製品の流通、廃棄に伴うCO₂排出量241kg(241g/1冊)は、沖縄県内の事業者が実施した排出削減事業によって創出された国内クレジットでカーボン・オフセットします。



リサイクル適正[®]

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。